

- 単元目標**
- ・積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。
 - ・31～100の数の言い方やアルファベットの小文字, ある物を持っているかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。
 - ・世界には様々な文字があることを知る。
- 単元評価規準**
- ・自らある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしている。
 - ・31～100の数を聞いたり, 言ったりしている。
 - ・アルファベットの小文字とその読み方を一致させている。
 - ・ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしている。
 - ・世界には様々な文字があることに気付いている。
- 表現** Do you have ~? Yes, I do./No, I don't.
アルファベット小文字 (a ~ z), thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, hundred
- 単元計画 (4時間)**

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	
1	世界には様々な文字があることや, 31～100の数の言い方を知る。 【P】動物の数を数える。 ○「教室の中の物を数えよう。」 【C】“How many penguins?”① 【L】外国の様々な文字がどの動物を表すかを予想し, 音声教材でその国の言葉や英語を聞く。 ○「アルファベットの小文字を知ろう。」アルファベットの小文字と大文字の対応を知る。			○	・世界には様々な文字があることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	アルファベットの小文字とその読み方とを一致させ, 31～100の数の言い方に慣れ親しみ, ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【C】“How many penguins?”① ○「ミッシングゲーム」 【C】オプション②～④“a, b, c” (Hi, friends! 1 Lesson 5 “A, B, C”のチャンツのリズムで) ○「アルファベットの小文字と大文字をつなげよう。」 ○「ラッキーカードゲーム」 ○「伝言ゲーム その1」3文字のアルファベットを言っただけで伝える。		○	○	・31～100の数を聞いたり, 言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検> ・アルファベットの小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
3	アルファベットの小文字とその読み方とを一致させ, ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】“How many penguins?”① 【C】オプション②～④“a, b, c” (Hi, friends! 1 Lesson 5 “A, B, C”のチャンツのリズムで) ○「伝言ゲーム その2」3文字のアルファベットを言ったりカードを見せたりして順に伝えていく。 ○「持っているアルファベットを当てよう。」 【A 1】アルファベット表示を書き写す。 ○「選んだアルファベット表示を当てよう。」指導者が選んだアルファベット表示を質問しながら当てる。		○	○	・アルファベットの小文字を見て読んだり聞いたりしている。<行動観察・振り返りカード点検> ・ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
4	アルファベットの小文字とその読み方とを一致させ, 積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 【C】オプション②～④“a, b, c” (Hi, friends! 1 Lesson 5 “A, B, C”のチャンツのリズムで) ○「Make pairs ゲーム」 ○「ゴーフッシュゲーム」 【A 2】「見つけたアルファベットを, クイズ形式で紹介しよう。」		○	○	・アルファベットの小文字を見て読んだり聞いたりしている。<行動観察・振り返りカード点検> ・自らある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

<p>2-Lesson 1 Do you have “a” ? 1/4 時間</p> <p>目 標 世界には様々な文字があることや、31～100 の数の言い方を知る。</p> <p>準 備 教師用カード (アルファベット大文字・小文字・世界の文字・数字), 教師用絵カード (動物), デジタル教材, (振り回りカード)</p>
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<p>【Let's Play】 p. 2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面の絵を1分間見た後、誌面を閉じてどんな動物がいたか答える。 ・誌面を開いて答えを確認する。 ・次に、再度誌面を閉じて動物などがそれぞれどれだけいたか推測して答える。 ・誌面を開いて、数えて確かめる。 ・31以上の数の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容を伝える前に、児童に誌面の絵をじっくり見せてから閉じさせ、どんな動物がいたか尋ねる。 ・答えを確認した後、誌面を閉じさせ、動物などがそれぞれどれだけいたか尋ねる。 ・児童と一緒に1から順に数えて、40, 50, 60, 70, 80, 90, 100の言い方を紹介しながら、その数を確かめさせる。 	デジタル教材
<p>○「教室の中の物を数えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中の物を数える。 ・指導者が尋ねる物の数を予想した上で、実際に数える。 ・指導者と一緒に数えながら31以上の数の言い方に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の中のロッカーや机、窓の数など、児童が普段目にしていない物の数を尋ねる。 ・児童と一緒に1から順に数える。慣れたら児童だけで数えさせる。 	
<p>【Let's Chant】 “How many penguins?”① p. 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞き、教師用絵カードに合わせて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。 	教師用絵カード (動物) 教師用カード (数字) デジタル教材
<p>【Let's Listen】 p. 2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文字がどの動物を表すか予想し、音声教材でその動物の言い方を聞く。 ・次に、それぞれの英語での言い方を聞いて答えを確認する。 ・それぞれの文字は、どこの国で使われている言語か考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用カードを提示しながら、それぞれがどの動物を表すか考えさせ、音声教材でその動物の言い方を聞かせる。 ・世界には様々な文字があることや、アルファベットに小文字があることに気付かせる。 ・それぞれの文字は、どこの国で使われている言語か尋ね、それらが使われている国の例を紹介する。 <p style="text-align: right;">※評価</p>	教師用カード (世界の文字) 教師用絵カード (国旗) デジタル教材
<p>○「アルファベットの小文字を知ろう。」 p. 2, 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に応じて、アルファベット大文字に対応する小文字を考える。 ・誌面 p. 2, 3 を見て確認する。 ・アルファベットの大文字・小文字の数を数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に教師用カード (アルファベット大文字) をアルファベット順に貼りながら、その読み方を確認する。教師用カード (アルファベット小文字) をアトランダムに貼り、その形などからどの大文字と小文字とが対応するか尋ねる。(よく似ている: Cc, Jj, Kk, Oo, Pp, Ss, Uu, Vv, Ww, Xx, Yy, Zz, 似ている: Bb, Ff, Hh, Ii, Ll, Mm, Tt, 単位で使用する: g, kg, mm, cm, dl, l など) 	教師用カード (アルファベット大文字・小文字) デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り回りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り回りカード

評価規準

- ・世界には様々な文字があることに気付いている。【気】 <行動観察・振り回りカード分析>

<p>2-Lesson 1 Do you have “a” ? 2/4 時間</p> <p>目 標 アルファベットの小文字とその読み方とを一致させ、31～100 の数の言い方に慣れ親しみ、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>準 備 教師用カード (アルファベット大文字・小文字・数字), 教師用絵カード (動物), デジタル教材, (振り向きカード)</p> <p>巻末児童用カード (アルファベット大文字・小文字)</p>
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant】“How many penguins?”① p. 3</p> <p>・音声教材を聞き、教師用絵カードに合わせて言う。別の動物や数に替えて言う。</p>	<p>・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。</p> <p>・別の動物や数に替えて言う。</p>	<p>教師用絵カード (動物)</p> <p>教師用カード (数字)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○ミッシングゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照)</p>	<p>・教師用カード (数字) 6～8枚を黒板に貼る。最初は、20までの数字、慣れてきたら31以上の数字も入れる。</p> <p>・児童に目を閉じさせ、その間に黒板に貼ってある絵カードから1枚を抜く。</p> <p>・目を開けさせ、What's missing? と尋ねる。</p> <p>・同様に、アルファベット小文字でも行う。 ※評価①</p>	<p>教師用カード (数字)</p> <p>教師用カード (アルファベット小文字)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>【Let's Chant】オプション ②～④“a, b, c” (Hi, friends! 1 Lesson 5 “A, B, C”のチャンツのリズムで)</p> <p>・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。</p>	<p>・教師用カードをアルファベット順に黒板に貼り、音声教材を聞かせ、一緒に言う。</p>	<p>教師用カード (アルファベット小文字)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○「アルファベットの小文字と大文字をつなげよう。」</p> <p>・巻末児童用カード (アルファベット大文字) をアルファベット順に机の上に並べる。</p> <p>・次に、机上の大文字カードの下に巻末児童用カード (アルファベット小文字) を並べる。・アルファベットの大文字・小文字の数を数える。</p>	<p>・大文字、小文字それぞれに、カードをよくシャッフルさせる。</p> <p>・全員で前活動のオプション②～④“a, b, c”のチャンツを言いながままず、巻末児童用カード (アルファベット大文字) をアルファベット順に並べさせる。</p> <p>・対応がよくわからない児童は、誌面 p. 2, 3 を参考にさせる。</p>	<p>巻末児童用カード (アルファベット大文字・小文字)</p>
<p>○ラッキーカードゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 31 参照)</p> <p>・各グループで巻末児童用カード (アルファベット小文字) 1組を用意する。</p> <p>・What do you want? ～, please. を使ってカードをやり取りする。</p>	<p>・ゲームの仕方を説明する。</p> <p>・しばらく児童どうして活動させた後、終了の合図を出す。</p> <p>・あらかじめ決めておいたラッキーカード、または、その場でくじ引きして決めたラッキーカードを見せ、Do you have ～? で尋ねる。</p>	<p>巻末児童用カード (アルファベット小文字)</p>
<p>○「伝言ゲーム その1」をする。</p> <p>【伝言ゲーム その1の進め方】</p> <p>①グループで列を作り、最後尾の児童は巻末児童用カード1組を用意する。</p> <p>②指導者は、b, a, t やc, a, p など、3文字程度のアルファベットを列の先頭児童に言う。</p> <p>③その児童は、聞いたアルファベットを後ろの児童に言って伝える。これを繰り返して伝えていく。</p> <p>④列の最後尾の児童が、伝え聞いたアルファベットのアルファベットの小文字カードを選んで、自分の机に並べる。</p>	<p>・伝言ゲームをすることを伝え、列を作らせる。</p> <p>・Do you have ～? で最後尾の児童に尋ね、答えを確かめる。 ※評価②</p>	<p>巻末児童用カード (アルファベット小文字)</p>
<p>・本時の活動をふり返る。振り向きカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り向きカード</p>

評価規準

①31～100の数を聞いたり、言ったりしている。【慣】<行動観察・振り向きカード点検>

②アルファベットのアルファベットの小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。【慣】<行動観察・振り向きカード点検>

<p>2-Lesson 1 Do you have “a”? 3/4 時間</p> <p>目 標 アルファベットの小文字とその読み方とを一致させ、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 教師用カード (アルファベット大文字・小文字・数字), 教師用絵カード (動物), デジタル教材, (振り返りカード)</p> <p>巻末児童用カード (アルファベット大文字・小文字)</p>
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant】“How many penguins?”①</p> <p>p. 3</p> <p>・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。別の動物や数に替えて言う。</p>	<p>・音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。</p> <p>・別の動物に替えて言う。</p>	<p>教師用絵カード (動物)</p> <p>教師用カード (数字)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>【Let's Chant】オプション②～④“a, b, c” (Hi, friends! 1 Lesson 5 “A, B, C”のチャンツのリズムで)</p> <p>・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。</p>	<p>・教師用カードをアルファベット順に黒板に貼り、音声教材を聞かせ、一緒に言う。</p>	<p>教師用カード (アルファベット小文字)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○「伝言ゲーム その2」をする。</p> <p>【伝言ゲーム その2の進め方】</p> <p>①列を作り、偶数番目及び、最後尾の児童は巻末児童用カードを用意する。</p> <p>②指導者は、b, a, t やc, a, p など、3文字程度のアルファベット小文字カードを列の先頭児童に見せる。</p> <p>③先頭児童は、指導者が示したカードのアルファベットを、2番目児童に口頭で伝える。</p> <p>④2番目児童はそれを聞き、自分のアルファベット小文字カードから該当する3枚を選んで並べ、3番目児童に見せて伝える。</p> <p>⑤3番目児童は、2番目が示したカードのアルファベットを、4番目児童に口頭で伝える。これを繰り返して伝えていく。</p> <p>⑥列の最後尾児童が自分のアルファベット小文字カードから該当する文字のカードを選んで黒板に貼ったり、口頭で発表したりして答えを確かめる。</p>	<p>・伝言ゲームをすることを告げ、前時との違いを説明する。 ※評価①</p>	<p>巻末児童用カード (アルファベット小文字)</p>
<p>○「持っているアルファベットを当てよう。」</p> <p>・代表児童1名は10枚の教師用カードを選んで見られないように手に持つ。</p> <p>・代表児童が持つアルファベットを考え、Do you have ～? と一斉に代表児童に尋ねる。</p> <p>・代表児童は、Yes, I do./No, I don't. で答える。</p>	<p>・代表児童に、教師用カードから10枚を選ばせる。</p> <p>・選ばない16枚を黒板に順不同に貼り、ほかの児童に何がなか考えさせる。</p> <p>・はじめは、指導者が代表児童に Do you have ～? で尋ね、何回か繰り返したらほかの児童にも一緒に尋ねさせる。 ※評価②</p>	<p>教師用カード (アルファベット小文字)</p>
<p>【Activity】 p. 4, 5</p> <p>・誌面の絵をじっくり見て、見たことがあるアルファベット表示を選び、誌面の表にその文字を書き写す。</p>	<p>・それぞれのアルファベット表示の意味を紹介する。</p> <p>・アルファベットの書体が様々あることに気付かせる。</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>○「選んだアルファベット表示を当てよう。」</p> <p>p. 4, 5</p> <p>・表示に何のアルファベットが含まれているのかを知るために、指導者に Do you have ～? で尋ねる。</p> <p>・指導者の答えをもとにして、何の表示か言い当てる。</p>	<p>・誌面の絵の中からアルファベット表示を1つ選ぶ。</p> <p>・児童の質問に Yes, I do./No, I don't. で答え、児童が尋ねる文字が、含まれる・含まれないに分類して教師用カードを黒板に貼る。</p> <p>・様々な表示について繰り返す。 ※評価②</p>	<p>教師用カード (アルファベット小文字)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

評価規準

- ①アルファベットの小文字を見て読んだり聞いたりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>
- ②ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

2-Lesson 1 Do you have “a” ? 4/4 時間 目 標 アルファベットの小文字とその読み方とを一致させ、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 準 備 教師用カード (アルファベット小文字), デジタル教材, (振り向きカード), 巻末児童用小文字カード

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
【Let's Chant】 オプション②～④“a, b, c” (Hi, friends! 1 Lesson 5 “A, B, C”のチャンツのリズムで) ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。	・教師用カードをアルファベット順に黒板に貼り、音声教材を聞かせ、一緒に言う。	教師用カード(アルファベット小文字) デジタル教材
○ Make pairs ゲームをする。 ・各児童は、巻末児童用カードを準備する。	・ペアの相手に見せないように巻末児童用カードから 10 枚選ばせ、ゲームの内容を説明する。	巻末児童用カード (アルファベット小文字)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【Make pairs ゲームの進め方】 ①ペアになる。 ②それぞれに好きなアルファベット小文字を、カードから 10 種類選び、相手に見えないように持つ。残りのカードはふせておく。 ③自分と同じカードを相手を持っているか、Do you have “a”? Yes, I do./No, I don't. で交互に尋ねる。 ④同じカードを持っていれば、カードをペアにして机の上に置く。 ⑤手持ちの 10 枚分を繰り返し、多くのペアカードを作ったペアが勝ちになる。 </div>		
○ ゴーフッシュゲーム をする。 ・巻末児童用カードを準備する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【ゴーフッシュゲームの進め方】 ①4人グループを作り、グループで巻末児童用カード2組(52枚)を用意する。 ②机を囲むように座り、1人5枚ずつ持ち、残りのカードは中央に裏返して積む。 ③手持ちの中で同じカードがあれば机の中央に出す。 ④順番を決め、1番の人がほかの3人のうち1人を指名して欲しいアルファベットをDo you have ~?と尋ねる。 ⑤尋ねられた児童は、持っていればYes, I do. Here you are.と、1番の人に渡し、中央の積まれたカードから、1枚を取る。持っていなければ、Go fish!と言い、1番の人が中央の積まれたカードから1枚を取る。 ⑥次に、2番以降の人がこれを繰り返し、手持ちのカードが早くなくなった人が勝ちとなる。 </div>	・4人の児童でデモンストレーションをして、児童にゲームの仕方を理解させる。 ※評価①	巻末児童用カード (アルファベット小文字)
【Activity 2】 p. 4, 5 ・誌面から、自分のアルファベット表示を1つ決める。 ・グループになり、 Do you have ~? Yes, I do./No, I don't. と尋ね合ってクイズ形式でアルファベット表示を紹介し合う。	・前時に指導者対児童で行ったアルファベット表示を当てる活動を児童どうしで行わせる。 ・活動後、時間に余裕があれば、グループ対抗のクイズにしたり、代表児童のアルファベット表示を当てたりする。 ※評価②	デジタル教材
・本時の活動をふり返る。振り向きカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り向きカード

評価規準

- ①アルファベットの小文字を見て読んだり聞いたりしている。【慣】<行動観察・振り向きカード点検>
 ②自らある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしている。【コ】<行動観察・振り向きカード点検>